

# みどりの食料システム戦略 プロジェクト in小松島

ビオトープ米とは

ネオニコチノイド系農薬を減らし、  
生物が自然な状態で生息して  
いる空間で育まれるお米です。

# 環境に配慮したビオトープ米を 一緒につくりませんか？

私たちが  
住める環境で  
お米を  
是非作ってね。

低リスク農業への転換、総合的な病虫害管理体系の確立、普及に加え、  
**ネオニコチノイド系**を含む従来の殺虫剤に代わる新規農業等の  
開発による化学農薬使用量（リスク換算）の削減

とくしま有機  
農業サポートセンター  
理事長 佐伯昌昭

## ①世界にはばたけ BLOF理論

BLOFはブロフと読みます。  
Bio LOfical Farmingの略で、  
生態系調和型農業理論と訳されます。

農作物をしっかり「生命」としてとらえ、その「生命力」が最大限に発揮されるように、「土づくり」によって最適な環境を作り出し、農業者が望む、高品質・高栄養価・多収穫・美味しく・病虫害に強く、持続的に安定生産できる農産物生産システムです。科学的なアプローチのみで実現できるので、誰でも取り組むことができます。



総予算  
**300**  
万円

## ②(株)豊徳のみみず覆土を活用した「米づくり支援事業」

400～500ヘクタール分の**有機肥料**を提供します!!

支援対象者について JA東とくしまを通じてコープ自然派にお米を出荷していただける生産者に限ります。



## ③米の新規就農者大募集

とくしま有機農業サポートセンターでは環境保全型農業の米作りについて学びたい方を応援します。



コープ自然派はネオニコフリー

こどもたちも、生きものも、  
しあわせになる食べ物づくり。

## 生物のチカラで解決!

## 米づくりの3つのポイント

### とろとろ層の抑草

稲刈り後のワラを翌春までに分解させることで腐食を生成、その腐食は田んぼの土を団粒化いわゆるとろとろの土を作ってくれる。このとろとろ層がユスリカやイトミミズの格好の住みかとなってより一層の稲の生育を助けます。



### 食物連鎖による殺虫

米づくりの天敵はカメムシによる食害です。カメムシは出穂したお稲の胚乳を好んで吸います。それが「斑点米」の原因となり、お米の等級を下げてしまいます。このカメムシを食べるのがカエルヤクモ。生きもの豊かな田んぼだからこそ実現できる食物連鎖です。



### みみずふん土による殺菌

みみずは体全体が腸のような働きをし、椎茸の廃菌床を食べると、有用菌が増殖します。未成熟である有機物を植物が吸収しやすい状態になります。つまり体内で肥料を作ってくれているようなもの。この「みみずふん土」を苗づくり利用します。またみみずの酵素の働きで有用菌が増え、悪影響を与える病原菌を抑制してくれる効果もあります。



興味ある方は下記よりお気軽にお問い合わせください。



株式会社コープ有機  
TEL 088-677-5530  
徳島県徳島市川内町平石若松204番地6  
MAIL info.coopyuuki@shizenha.co.jp

